

土発 307 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

埼玉県伊奈町長 野 川 和 雄



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありましたこのことにつきまして、
別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県北足立郡伊奈町

主要幹線道路の整備は、事業規模が大きく、アピール度も高いが、国民生活を支えるのは、いわゆる「生活道路」であり、偏った道路整備は良好な交通体系の構築を阻害するものです。規模の大小に関わらず、バランスの取れた整備を行う必要があると考えます。

そういった意味でも道路特定財源の一般財源化が、地方道路行政の切捨てにつながらないことを切に願うところです。

市町村道など国民生活に密着した「生活道路」の整備に対する不断の財政支援をお願いいたします。

交通渋滞による経済損失について言われて久しいが、遅々として進まない感があります。渋滞情報からは、毎日のように同じ地名が流れ、それは経済だけでなく、住民の健康、地域の環境にも悪影響を及ぼしています。

渋滞解消に向けて、道路構造、交通規制、環境等を十分に考慮し、将来的な視点に立った道路整備を進めていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

埼玉県北足立郡伊奈町

○現状

本町では、広域幹線道路から「生活道路」まで、町民の安全と利便性に配慮しつつ道路整備を推進してきました。

現在、主要幹線道路の都市計画道路伊奈中央線は埼玉県により、地域幹線道路の「いなほ街道」は国庫補助により整備を行っております。

また、住民に密着したいわゆる「生活道路」は、区画整理事業により整備が進む一方、それ以外の地域においては、改良を進めているとはいえ、依然として幅員の狭い道路が多く、歩行者等の安全、緊急車両の通行等に支障を来している状況であります。

全体的には、道路の維持に費用がかかり、新設改良まで費用が回らない。

○課題

事業費の確保が厳しく、事業の促進が図れない。また、先行きも不透明で、将来的な整備計画が立てられない状況である。

②－２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県北足立郡伊奈町

当町は、健全な都市構造の形成を目指し、高速交通体系とネットワークされた幹線道路網の構築を推進し、都市活動や交通利用形態の変化にも対応できる交通体系の確立を図ります。

具体的には、県道さいたま栗橋線、通称第二産業道路を広域幹線道路と位置づけ、さらに南北の伊奈中央線、東西の都市計画道路上尾久喜線、大宮菖蒲線、上尾伊奈線、上尾白岡線、上尾蓮田線、一般県道上尾環状線の7路線を幹線道路と位置づけて、整備を進める。また、地域幹線道路として、いなほ街道、栄中央通り等の整備を進める。さらに、住民生活に密着した生活道路の整備を進め、幹線道路へのアクセス、利便性の向上を目指す。

将来的には、広域交通体系や交通状況の変化に対応しつつ、誰もが安全便利に利用することができる道路整備を実現していく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

埼玉県北足立郡伊奈町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・近隣市との交流の促進	都市計画道路伊奈中央線の整備	近隣市との交通の利便性向上を図り、交流を促進する。	埼玉県により施工 (早期完成を要望中)
・地域交流の促進	「いなほ街道」の拡幅整備	地域幹線道路に位置づけ、拡幅整備を行い、地域交流を促進する。	国庫補助により施工中
・住民生活の利便性の向上	生活道路の整備	狭隘道路については、建築基準法上のいわゆる「道路後退」敷地を採納し、整備を行い、地域生活、緊急時の利便性の向上をはかる。	要項を定め実施
・大規模道路へのアクセス向上	圏央道等大規模道路へのアクセス道路の整備	将来的には、近接して東に国道122号、南に国道16号、西に通称第2産業道路、上尾道路(バイパス)、そして北には圏央道が整備され、当町はその谷間に位置することになる。 そのため、それらの大規模道路にアクセスする道路の整備は、近隣市を含めた重要な課題になる可能性がある。それにあわせた工業系、住居系の面整備、また生活道路の整備の必要性が高まる。	